地域連携全体計画

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| ○日本国憲法○教育基本法○学習指導要領○福島県教育委員会重点施策○▲▲市教育委員会教育基本方針 |  | 学　校　教　育　目　標 |  | ○児童の実態○地域の実態○学校、家庭、地域の願い |
|  | ○かがやく目○あふれる笑顔○ひかる汗 |  |

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 地域連携で目指す児童像 |  | 地　域　連　携　推　進　目　標 |  | 学校課題の推進 |
| ○自分のよさを生かして夢や希望をもち、実現に向けて主体的に活動する児童 |  | ○様々な立場の人と関わることで、自分や友達のよさや個性に気づき、自分の生活や周りの環境に関心をもたせる。○仕事・職業についてよく考え、夢や希望を抱くとともに、そこに向かって努力する態度を育てる。 |  | ○学び合う児童の育成～自ら学びに向かう意欲を高める工夫～ |

|  |
| --- |
| 生　か　し　た　い　力 |
| 地　域　の　人　材 | 地　域　の　資　源 |
| ・学校支援ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ、地域ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰの活動　　学習支援：読み聞かせ、各教科への支援等　　環境支援：見守り隊、畑・田んぼ、図書室整備等・各関係機関・企業等との連携　　出前講座（水泳、絵手紙、化学実験等）　　高齢者との交流 | ・地域資源を活用した校外活動　　文化財、職場見学、異校種間交流・社会教育施設の活用　　公民館がもつ地域情報の活用　　図書館等での調べ学習や体験学習　　青少年教育施設等での体験学習等 |
| 学　校　の　力 | 地　域　へ　の　参　画 |
| ・学校の教育力を生かした活動　　ＰＴＡ行事、研修　　中学校区の連携、学年行事 | ・地域との連携　　資源回収、文化活動への参加・近隣、異校種、地域団体との連携 |

|  |
| --- |
| 地 域 連 携 教 育 に 関 わ る 各 学 年 の 関 連 課 題 |
|  | 人間関係・社会形成能力 | キャリアプランニング能力 | 課題対応能力 | 意思決定能力 |
| 課題 | ・自己の能力を発揮しながら、様々な人々とコミュニケーションを図り、協働してものごとに取り組む。 | ・学ぶこと、働くことの意義や役割及びその多様性を理解し、幅広く情報を活用して、生き方の選択に生かす。 | ・将来の生き方や生活を考え、社会の現実をふまえながら、前向きに自己の将来を設計する。 | ・自らの意思と責任でよりよい選択決定を行うとともに、その過程での課題や葛藤に積極的に取り組み克服する。 |
| 低学年 | ・自分の好きなことや大切にしたいことが言え、友達と仲良く遊び助け合う態度を養う。 | ・係や当番活動の大切さやその方法を理解し、しっかりと取り組むことができる。 | ・目標をもつことの大切に気づき、日々のめあてを設定し実行することができる。 | ・新しい環境に慣れ、意欲をもって規律ある学校生活を送ろうとする態度を育てる。 |
| 中学年 | ・自分のよさや友達のよさを認め合い、励まし合う態度を養う。 | ・世の中の仕事について知り、現在の学習内容が将来とどのように関係していくのか気づく。 | ・将来の夢や希望について考え、どんな人間になりたいか目標を掲げることができる。 | ・どのような態度で生活することが、自分にも周囲にもいいことなのかを考えることができる。 |
| 高学年 | ・自分らしさを発揮し、所属する集団に貢献する態度を養う。 | ・様々な体験学習をとおして、職業に対する関心をもち、働くことの意味について考える。 | ・将来のことを考える大切さを理解し、そのために自分が今何をすべきなのか考えることができるようにする。 | ・中学校生活への適応指導を図り、夢をもち目標に向かって努力する態度を育てる。 |

|  |
| --- |
| 地　域　連　携　指　導 |
| 指　導　援　助　の　方　針 | 指　導　体　制 | 評　　価 |
| ・地域との関わりを大切にした教科指導の充実・キャリア形成への支援 | ・地域連携担当教職員を中心とした連絡、調整、会議・地域との連携を重視した指導・系統的な指導計画の作成 | ・地域連携教育に関わるポートフォリオの活用・保護者、地域からの評価及び外部講師からの評価 |